



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 コスモ・バイオ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3386 URL <https://www.cosmobio.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 代表執行役員（氏名）柴山 法彦
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員 財務部長 （氏名）林 政徳 TEL 03-5632-9600
半期報告書提出予定日 2026年8月7日 配当支払開始予定日 2026年9月10日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	5,914	9.5	279	1.2	340	△0.8	277	10.5
2025年12月期中間期	5,402	5.3	276	△14.4	343	1.8	250	△2.9

（注）包括利益 2026年12月期中間期 506百万円（36.1%） 2025年12月期中間期 372百万円（△55.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	48.79	—
2025年12月期中間期	44.03	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	12,844	10,349	76.0
2025年12月期	12,662	9,955	74.0

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 9,757百万円 2025年12月期 9,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年12月期	—	25.00			
2026年12月期（予想）			—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	6.8	270	△21.3	380	△22.4	320	△5.1	56.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期中間期	6,048,000株	2025年12月期	6,048,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	350,079株	2025年12月期	374,053株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年12月期中間期	5,681,825株	2025年12月期中間期	5,699,857株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年8月6日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、エネルギー価格や原材料価格の高騰、さらには円安傾向が持続しました。海外においても、ウクライナ情勢の長期化や米国によるイラン攻撃を契機とした中東情勢の緊迫化といった地政学上のリスクにより、先行きが不透明な状況となっております。。また、当社グループ関連の、ライフサイエンスの基礎研究分野市場の動向は、大学・公的研究機関において堅調に予算執行がなされているものの、市場環境や同業他社との価格競争は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループにおきましては、3カ年計画の初年度として、「生命科学の進歩に資する」という目的のもと、ライフサイエンス領域の研究開発に資する多様な自社製品・商品・サービスの提供と、在庫の適正化及び迅速出荷に取り組んでおります。当中間連結会計期間における売上高は5,914百万円（前年同期比9.5%増）となり、売上総利益は2,040百万円（前年同期比9.3%増）、売上総利益率は34.5%（前年同期34.5%）となりました。為替レートは当中間連結会計期間平均155円／ドル（前年同期149円／ドル）で推移しました。

販売費及び一般管理費は、各種経費が増加し、営業利益は279百万円（前年同期比1.2%増）、経常利益は340百万円（前年同期比0.8%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は277百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

また、売上高を品目別にみますと、研究用試薬4,694百万円（前年同期比8.2%増）、機器1,219百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金720百万円増加、有価証券が400百万円増加した一方、売上債権（受取手形及び売掛金）が485百万円減少、商品及び製品が89百万円減少したこと等により、488百万円増加いたしました。有形固定資産及び無形固定資産につきましては、重要な変動はありませんでした。投資その他の資産につきましては、投資有価証券が248百万円減少したこと等により、242百万円減少いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における総資産は12,844百万円（前連結会計年度末比181百万円増）となりました。

（負債）

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、340百万円減少し、固定負債につきましては、128百万円増加いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における負債は2,494百万円（前連結会計年度末比212百万円減）となりました。

（純資産）

純資産につきましては、10,349百万円（前連結会計年度末比393百万円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は718百万円（前年同期比3.5%増）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益409百万円、売上債権の増減額488百万円、棚卸資産の増減額97百万円、仕入債務の増減額△224百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は138百万円（前年同期比318.2%増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は145百万円（前年同期比30.6%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は当期首の2,747百万円から720百万円増加して3,468百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月24日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,747	3,468
受取手形	7	-
売掛金	3,078	2,601
有価証券	199	600
商品及び製品	1,011	922
仕掛品	15	15
原材料及び貯蔵品	74	69
その他	306	253
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,441	7,930
固定資産		
有形固定資産	862	799
無形固定資産		
その他	167	165
無形固定資産合計	167	165
投資その他の資産		
投資有価証券	3,809	3,560
関係会社株式	10	10
その他	371	378
投資その他の資産合計	4,190	3,948
固定資産合計	5,220	4,913
資産合計	12,662	12,844

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	806	622
短期借入金	20	20
未払法人税等	156	119
その他	439	319
流動負債合計	1,422	1,081
固定負債		
退職給付に係る負債	655	694
その他	629	717
固定負債合計	1,284	1,412
負債合計	2,706	2,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	918	918
資本剰余金	1,267	1,273
利益剰余金	5,880	6,015
自己株式	△379	△353
株主資本合計	7,686	7,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,606	1,823
繰延ヘッジ損益	20	12
為替換算調整勘定	59	67
その他の包括利益累計額合計	1,687	1,904
非支配株主持分	582	591
純資産合計	9,955	10,349
負債純資産合計	12,662	12,844

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
売上高	5,402	5,914
売上原価	3,536	3,873
売上総利益	1,866	2,040
販売費及び一般管理費	1,590	1,760
営業利益	276	279
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	49	61
為替差益	8	-
保険解約返戻金	10	3
その他	8	9
営業外収益合計	82	82
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	-	3
デリバティブ評価損	7	2
固定資産除却損	4	9
その他	4	5
営業外費用合計	16	21
経常利益	343	340
特別利益		
投資有価証券売却益	28	70
特別利益合計	28	70
特別損失		
投資有価証券評価損	-	1
特別損失合計	-	1
税金等調整前中間純利益	371	409
法人税等	115	120
中間純利益	255	289
非支配株主に帰属する中間純利益	5	12
親会社株主に帰属する中間純利益	250	277

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
中間純利益	255	289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177	217
繰延ヘッジ損益	△42	△8
為替換算調整勘定	△19	8
その他の包括利益合計	116	217
中間包括利益	372	506
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	367	494
非支配株主に係る中間包括利益	5	12

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	371	409
減価償却費	72	93
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	39
受取利息及び受取配当金	△55	△68
支払利息	0	0
固定資産除売却損益 (△は益)	4	7
為替差損益 (△は益)	5	△8
投資有価証券売却損益 (△は益)	△28	△70
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	1
売上債権の増減額 (△は増加)	363	488
棚卸資産の増減額 (△は増加)	56	97
仕入債務の増減額 (△は減少)	△163	△224
その他	9	24
小計	643	789
利息及び配当金の受取額	55	68
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△4	△138
営業活動によるキャッシュ・フロー	694	718
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	100	100
有形固定資産の取得による支出	△23	△105
無形固定資産の取得による支出	△36	△17
投資有価証券の取得による支出	△30	-
投資有価証券の売却による収入	33	162
その他	△11	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	33	138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△71	-
自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加)	71	-
配当金の支払額	△206	△141
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209	△145
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	500	720
現金及び現金同等物の期首残高	2,393	2,747
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,893	3,468

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結貸借対照表関係）

※中間連結会計期間末日満期手形

中間連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が前連結会計年度の期末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
受取手形	1百万円	-百万円

（中間連結損益計算書に関する注記）

※販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
給料手当	479百万円	522百万円

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
現金及び預金勘定	2,893百万円	3,468百万円
現金及び現金同等物	2,893	3,468

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自2025年1月1日 至2025年6月30日）及び当中間連結会計期間（自2026年1月1日 至2026年6月30日）

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。